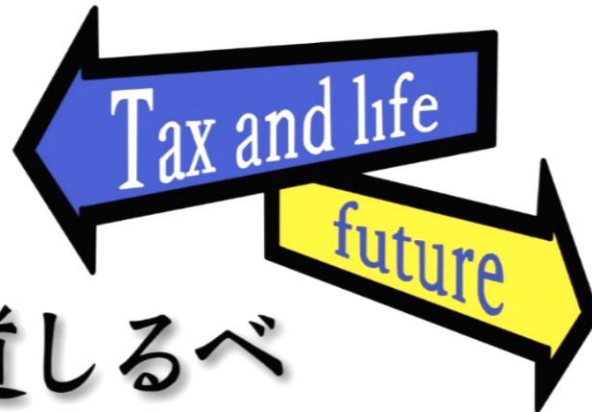


公益社団法人 安芸法人会 青年部会

～子供たちと未来を繋げる租税教室～



道しるべ

Become a guide to the future through taxes

Become a guide to the future through taxes

ご訪問ありがとうございます

第 33 回全国青年の集い大分大会 租税教育プレゼンテーションで発表させて頂いた、安芸法人会の事業についてご紹介させていただきます。

ご一読頂ければ幸いです。

安芸法人会の新たな挑戦!!

★クイズを取入れた租税教室についてご説明します★

1. これまでの租税教室を振り返る

これまでの授業に対し「課題」として意見を出し合いました。

- 講師によって授業の雰囲気や話の伝わり方に大きな差が出る。
- 45 分間という限られた時間内での説明および DVD 視聴などの時間配分が難しい。
- 児童にとっては専門用語や単語が難しく、台本通りに話が進め辛い。
- 開催時期が小学校での授業の前後かによって生徒への伝わり方が違う。
- 内容自体が難しいので、分かり易い説明を心がけても児童の集中力が持続しない。
- 講師の説明より DVD(アニメ)視聴が分かり易い。
- 内容には一般的な施設(警察、消防、図書館など)ばかりで地域にある施設が出て来ない。
- 学校の先生が行うような授業では外部の者が授業を行う利点がない。
- 対象学区にある企業の会員が行うと親近感が増すが、現在はその分担が出来ていない。



2. アンケートを実施

平成 年 月 日

学校名 _____ 小学校 年(児童数 名)

租税教室についてのアンケート

本日は租税教室の開催にあたり貴重なお時間とご協力をいただき、誠にありがとうございました。
私も法人会では分かり易い、楽しい授業を心がけてはおりますが、まだまだ不十分な点もあろうかと思いま
す。つきましては、今後、より良い内容の租税教室を実施していくために、先生方の忌憚のないご意見をいた
さたく存じます。ご多忙の中恐縮ではございますが、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

※該当するものに をお願いします

★本日の授業についてお聞きします

①講師の話し方、進め方はどうでしたか？

わかりやすかった わかりにくかった どちらでもない

その他(ご意見など _____)

②授業の内容、教材はどうでしたか？

わかりやすかった わかりにくかった どちらでもない

その他(ご意見など _____)

③児童・生徒にとって授業内容はどうでしたか？

難しかった やや難しかった 簡単だった やや簡単だった 適当だった

その他(ご意見など _____)

④児童・生徒は、授業を受けることにより「税金」に興味や関心を持ったと思いますか？

持った やや持った 持たなかった あまり持たなかった どちらでもない

その他(ご意見など _____)

★今後の参考としてお聞きします

①授業に取り入れてほしいものはありますか？ (複数回答可)

税金ゲーム 税金クイズ ビデオ(マリンとヤマト以外) 絵本・かみしばい その他(_____)

②税金について具体的に話してほしいものはありますか？

税金の種類 税金のしくみ 税金の使い方 税金の大切さ その他(_____)

③話の内容に取り入れてほしいものはありますか？

仕事と税金の関係 税金と罰則について 空戸市と税金の関係 海外の税金について

その他(_____)

★その他、ご意見やご感想、ご要望などありましたらご自由にお書きください

.....
.....
.....

※アンケートへのご協力ありがとうございました。

 公益社団法人 安芸法人会
※アンケート返送 FAX 0887-34-1929



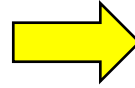
★各小学校へアンケートの協力を依頼

現在行なっている授業への感想と、これから取り入れてほしい内容について意見をいただきました。

3. 授業スタイルを決定

★「課題」と「意見」を基に、7つのコンセプトを立て、授業スタイルを決める。

- ① イベント型でない現行を生かした授業
- ② 誰でもどんな単位会でも取組める授業
- ③ 少人数、低予算で出来、継続性のある授業
- ④ 地域に密着した内容を取入れた授業
- ⑤ 講師陣も共に学べる授業
- ⑥ 児童全員が参加してくれる授業
- ⑦ 学校の先生とは違う授業



授業スタイル
決定



税金クイズ!!



クイズを取入れると、こんな成果が出ました。

- 講師陣のみんなが平等な授業を行える。
- 45分という限られた時間内での時間配分が組み立て易い。
- 教科書の内容にリンクした内容の授業を作れる。
- 対象児童の価値観や地域性に合せ、その都度内容を変更できる。
- クイズという形態を取る入れることで、「税金」という硬いイメージを和らげることができる。
- 校区に関するもの(道路、橋、建物など)を取り入れることで、より理解を深められる。
- 児童、教諭ともに参加できる(参観日などに実施の場合は保護者の参加も可能)
- 雑学的(温泉、お年玉など)要素を盛り込むことで、税金をより身近に感じることができる。
- クイズ形式なので、誤った回答をしても楽しく参加することができる。
- その日の出来事として保護者に話し易く、家庭での話題にしてもらい易い。



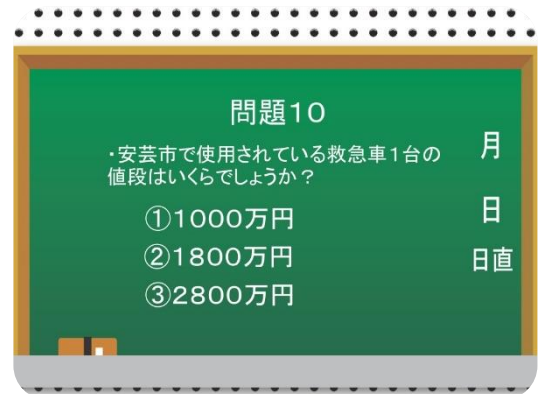
4. クイズを作成

たったの
2ステップです！



ステップ ①

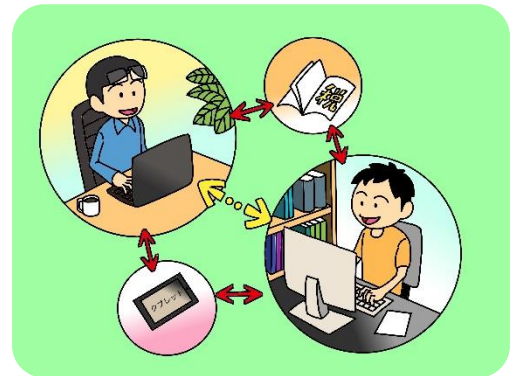
- パワーポイントを使って「問題」と「答え」を作成
- 地域ネタを問題に入れる
- 講師を務める会員それぞれが出題したい問題を提案



ステップ ②

- クイズ内容について他の会員がチェックをする

(パワーポイントは、スマホやタブレットで使える無料のアプリがあるので、端末にダウンロードすることで、いつでもどこでも会員同士で共有ができる)



こんなメリットもあるんです♪

- ◆自分たちがクイズを作ることで、会員も改めて「紙金」について学ぶことができる
- ◆会員それぞれが担当する学校に合わせた問題を作ることができる

5. 授業を行う

★ 児童には、授業の初めに「クイズとアニメの視聴」か「クイズのみ」か、どちらで授業を行いたいかを選んでもらいます。

モバイルを使った基本の授業

- タブレットを持参し、電子黒板に接続
- クイズ形式は3択クイズ
- 問題数は10問
- 間違えると座ってもらう勝ち抜き戦
- 先生にも参加してもらう為「地域ネタ」を取入れたクイズも用意



先生が参加するとクラス
全体が盛り上がったよ!

6. 授業を受けての感想をいただく



【 児童の感想 】

- 分かりやすく税のことが学べてよかった。
- 簡単な問題から難しい問題まであって面白かった。
- 税金を納めたら自分たちの町にどんないいことがあるかもっと知りたい。
- 家で授業の話をした。

【 先生の感想 】

- すごく具体的な話が聞けて、子ども達の社会の見方が広がった。
- 「クイズ」と聞いた時の子ども達の授業への食いつきがよかった。
- 授業の流れが良く、楽しかった。
- 「地域の人に地域の知らないことを教えて頂く」という、クイズの元ネタもよく、身近な問題が面白く学べていた。



★その他、ご意見やご感想、ご要望などありましたらご自由にお書きください

今日は、ありがとうございます。子どもたちも、税金の必要性について、しっかりと学ぶことができました。税金が使われるところとして、写真を用いて示してくださいました。これも分かりやすかったです。一気になったこととして、写真にあった道路や建造物にどれくらいの金額がかかっているのか、具体的な数字があるとより理解が深まるのではないかと思います。

※アンケートへのご協力ありがとうございました。


 公益社団法人 安芸法人会

★その他、ご意見やご感想、ご要望などありましたらご自由にお書きください

毎年、社会科の授業で6年生は「税金」について学びますが、教科書を使った、簡単な内容しか教えられる部分を「租税教育」で、詳しく、具体的に教えてくださるので、とてもありがたく感じています。自分達教員では伝えられない話（講師の方の職場での実際の税金について）も聞くと、さらに実情の多い授業になると思います。今後、ぜひ授業をお願いいたします。

※アンケートへのご協力ありがとうございました。

ありがとうございました。

 公益社団法人 安芸法人会

7. 屋外授業を開催

次の中で税金が使われているのはどれでしょうか？

- 学校
- コンビニ
- イオン

第31回法人会全国青年の集い「高知大会」での租税教育活動プレゼンテーションで紹介されていたアプリを使用。

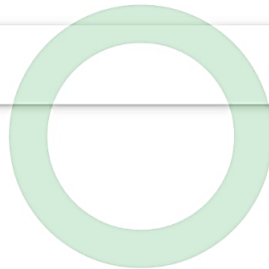
QuizGenerator

URL : quizgenerator.net

次の中で税金が使われているのはどれでしょうか？

- 学校
- コンビニ
- イオン

正解です。



8. 女性部会との連携

女性部会の活動

「税に関する絵はがきコンクール」

- 応募作品を路線バスに展示、運行
- 青年部会からの提案で、受賞者へ記念品として「受賞作品記念切手」を作成し、「税を考える週間」に授与式を行う。



「授与式」



「バス展示」



同じ租税教育活動には
変わりはない!



9. 最後に…

租税教室を始めとする私たちが行なう活動は決して「自分たちの達成感や自己満足」だけで終わってははいけません。

「税」の大切さを「伝える」方法は様々です。ですが、それが伝わっていなければ意味がありません。また、「伝える」側も「伝わる」ように日々その方法を模索していかなければならないと考えています。

租税教室という活動を通して、出会った子どもたちの記憶に一つでも残る授業を行いたい。そして「税」というものをもっと身近に感じてもらい、自分たちの暮らす街の未来を明るく想像してもらいたい。



これからの未来を担う子どもたちに、より良い社会を残すため私たちにできること。それは私たちがよき「道しるべ」になることです。

これからも自分たちが出来る「租税教育」を考え、次の世代へと繋がる活動を目指していきたいと考えます。



公益社団法人 安芸法人会
青年部会